

令和3年度
(第18回)

ものづくり教室

まとめ



主催 名古屋市技術・家庭科教育研究協議会

日時 令和3年8月5日(木)・6日(金)

場所 愛知教育大学附属名古屋中学校

後援 名古屋市立小中学校長会・名古屋市学校教育研究会
名古屋市教育会・名古屋ものづくり教育推進協議会

開催の趣旨

今、日本の文化や産業を支えるものづくりを大切にすることが求められています。しかし、ものづくりを中心としてきた技術・家庭科の学習においては、新しい内容が導入されたり、授業時間が削減されたりするなどの理由で、ものづくりの学習に十分な時間をとることができなくなってきました。

ものを作る楽しさや大切さなどは、実際に一つの作品の製作を最後までやり遂げた人にしか分かりません。そこで、「ものづくりの楽しさを、より多くの中学生に知らせたい」という思いから、平成15年度より「ものづくり教室」を開催しています。

参加者名簿

【Aコース】

No.	生徒氏名	学年
1	長谷川陽生	1
2	鷲野 嘉哉	2
3	西村 太登	2
4	松原 匠吾	2
5	櫻井 冴祐	1
6	細江 暁乃	1
7	難波 映太	1
8	田中 柚黄	1
9	都筑有珂湊	1
10	楯 あかり	1

【Bコース】

No.	生徒氏名	学年
1	竹内 美桜	1
2	大川 陽菜	2
3	江崎 彩乃	2
4	阿部帆乃加	2
5	遠藤 文菜	2



(製作題材)

Aコース 技術分野

Aコースでは、①・②の作品からどちらか一方を選択して製作しました。

① 「トラッシュボックス・スツール」



椅子（スツール）として使えるゴミ箱です。

座部は細い板材を接着剤で圧着して集成材を作るという体験ができます。また、接合は隠し釘を使うことで、接合部分が目立たないようにしました。部品数が少ないものの、箱物なので参加者が加工の精度にこだわって製作に取り組めるようにしました。

② 「アウトドアハイテーブル」



キャンプなどで椅子に座った状態で活用できるアウトドアハイテーブルです。

脚の部分の加工では、片刃のこぎりとのみを使用したおい入れつぎを行い、日ごろ行うことが少ない加工を体験することができます。また、側板と接触する角度や位置を細かく調整し、強度を高くしました。

Bコース 家庭分野

「ランチバック」



縫製の保冷シートを裏地に付けたランチバッグです。自分のお弁当箱のサイズに合わせ奥行きを大きくとったり、ペットボトルが入るように高さや横幅を広げたりして、基となる型紙から好みのサイズに変更し、製作できます。また無地とストライプの両面リバーシブルの布を使用し、本体、見返し、持ち手、タブの色や柄の組み合わせも変えることができます。縫製の基本的な技能に加え、型紙の補正やファスナーの付け方を学ぶことや、自分だけのオリジナル作品を作ることができます。

当日の様子

令和3年8月5日(木)・6日(金)の2日間にわたり、東区の愛知教育大学附属名古屋中学校において「第18回 ものづくり教室」を開催しました。

Aコース・Bコースともに猛暑の中、参加者は意欲的に製作に取り組み、自ら進んで作業を進めることで、一人一人が満足いく、すばらしい作品を完成させることができました。



<ようこそ「ものづくり教室」へ>



<受付の様子>



<開講式の様子>



<閉講式の様子>

Aコース（技術分野）の製作の様子

8月5日（木）＜1日目＞

「トラッシュボックスツール」の製作1日目は、材料のけがき、切断、切削、組み立てを行いました。自分で材料を圧着して集成材を作ったり、大きな材料を切断したりするなど、寸法の精度にこだわりながら作業を進めていきました。組み立てでは、隠し釘として細い釘を使用したため曲がりやすくまっすぐ打ち込むことに苦労する場面もありました。1日目ではほぼ作品の形を作ることができました。

「アウトドアハイテーブル」の製作1日目は、材料へのけがき、切断、接合部分の穴あけ、組みつぎを行いました。アウトドアハイテーブルでは多くの部品を使用するため、工程表を何度も確認しながら、けがきや切断、穴あけ加工を行いました。受けの加工では、慣れないのみの使い方を講師からよく聞き、げんのうで力強く打って切削をしました。また、組み立てでは、脚の開閉に組みつぎの精度が関わってくるため、その調整に苦労をしていました。早く進んだ生徒は、天板の組み立てまで終えることができました。



8月6日（金）＜2日目＞

「トラッシュボックススツール」の製作2日目は、仕上げ加工をメインに行いました。本体となる箱の角をかんなどで面取りしたり、表面を研磨紙で磨いたりしました。その後、本体の箱にウエスでステインを塗り込み塗装をしていきました。座部となるフタはかんなどで平削りや面取り、研磨紙やドレッサーでの研磨など、ここまですべての技術を生かしながら作業を進め完成しました。

「アウトドアハイテーブル」の製作2日目は、昨日の続きの作業に加え、表面の加工と組み立てを行いました。表面加工では、ニス塗りやオイルステイン(カラー)塗り、バーナーでの焼加工など生徒が自分の行いたい加工を選び思い思いに仕上げました。最後に、脚と天板をボルトで組み合わせ、取っ手とチェーンを取り付けて完成しました。

